

2021年3月2日

報道関係各位

GMO あおぞらネット銀行株式会社

## 銀行 API 契約事業者数 100 社を突破

GMO あおぞらネット銀行株式会社（以下、当社）は、経理業務の大幅な効率化や、新たな FinTech サービス実現を目指し、銀行 API(\*1)の提供に注力しております。

その結果、当社の銀行 API の利用契約を締結された事業者さまの数が、本日 100 社を突破しましたのでお知らせいたします。これは、当社の「銀行 API 公開コンセプト」で掲げている通り、接続しやすい銀行 API を目指した取り組みをご評価いただいた結果と自負しています。

### API公開のコンセプト

当社は、電子決済等代行業者さまだけでなく、より多くの企業さまの利便性向上に寄与するため、一般の事業会社さまにも銀行APIをご利用いただける環境を整え、以下の4つのコンセプトを前提に銀行APIの開発、順次公開を行っています。

**1**



接続企業さまのエンジニアが開発しやすい環境を整備します  
(開発者ポータル、仕様書公開、サンドボックス、SDK提供等)

**2**



接続企業さまの決裁者が判断しやすい環境を整備します (利用料・接続料無料、明快な接続申請等)

**3**



接続企業さまをご利用になるお客さまが安心して利用できる環境を整備します (接続企業事前チェック体制、セキュリティ仕様等)

**4**



API提供を継続して進化させます (接続企業さまからのリクエストによりAPIを継続開発)

(\*1) API は、アプリケーション・プログラミング・インターフェースの略で、機能やデータを他のアプリケーションから呼び出すための接続口やその仕組みを指します。銀行が公開する API は、銀行と外部の事業者さまとの間に安全にデータ連携するための仕組みです。

**【当社の銀行 API への取り組み】** URL : <https://gmo-aozora.com/api-cooperation/>

当社は、お客さまの口座残高や入金明細などの情報が連携できる参照系 API の公開を 2019 年 1 月、口座の振込や振替といった資金移動取引が連携できる更新系 API の公開を同年 5 月に行いました。同時に、銀行 API の基本無償（スタンダード API）提供をはじめ、接続審査にかかる時間短縮、開発者さまからの直接問い合わせをお受けすることで開発スピード向上に貢献するなど、銀行 API を接続しやすい環境の整備を進めてまいりました。

さらに、2020 年 4 月には、銀行 API 接続開発の障壁を下げる取り組みとして、国内銀行初となる本格的な銀行 API 実験環境を無償で常時開放する「sunabar -GMO あおぞらネット銀行 API 実験場-」（以下、sunabar）を開始しています。また 2021 年 2 月には、この sunabar をパワーアップさせ、銀行 API の実験環境、エンジニアコミュニティのほか、システム開発支援や資金調達支援まで踏み込んで接続事業者さまを支援しています。

現在公開している銀行 API は、個人・法人口座の参照系・更新系合わせて、24 種類の API を無償提供しているほか、有償 API を含むと 28 種類の銀行 API を公開しており、国内の銀行では最多公開数\*となっております。

(\*2021 年 3 月 2 日時点、当社調べ)

■ API ラインナップ URL : <https://gmo-aozora.com/api-cooperation/#apilineup>

## 【当社銀行 API 接続事業者さま 100 社突破について】

当社は、API の利用用途に応じて、「パブリックアクセス」と「プライベートアクセス」の 2 つのアクセス（接続）方法を用意しており、プライベートアクセスを選択される事業者さま数の急伸長により、この度 100 社を突破いたしました。

プライベートアクセスの急伸長の理由として、経理業務を銀行 API 導入によって自動化させ、大きなコストダウンにつながるという理由が最も多く、次いで、新たなビジネスチャンスとして FinTech サービスを提供される事業者さまによる API 導入が進んだことによります。

結果、銀行 API 契約事業者数のうち、プライベートアクセス 87 社、パブリックアクセス 13 社の計 100 社を突破いたしました。

- パブリックアクセス…銀行 API を接続した企業のサービスを利用するお客さまの口座に対して API によるアクセスを行う場合に利用いただけます。主として、電子決済等代行業者が API を利用するケースで、会計システムや家計簿アプリなどを提供する事業者さまにご利用いただいています。
- プライベートアクセス…銀行 API を接続した企業自身の口座に対して API によりアクセスを行う場合に利用いただけます。たとえば、多数の入金が発生するサービスを運営されている事業者さまが、「振込入金口座 API」と「入出金 API」を利用してシステム構築することで、取引先への請求処理や入金照合を自動化することが可能となります。

## 【接続事業者さまの導入効果】

各社さまの導入事例を当社 Web サイトでご紹介しています。以下は一例です。

- ・株式会社キャリアさま…月間 1 万件以上の振込作業を自動化  
<https://gmo-aozora.com/business/case/case5/>
- ・株式会社 JTB さま…企業版ふるさと納税サイト「ふるさとコネクト」に API 導入  
<https://gmo-aozora.com/business/case/case23/>

## 【GMO あおぞらネット銀行株式会社について】

「すべてはお客さまのために。No.1 テクノロジーバンクを目指して」をコーポレートビジョンに掲げ、新しいネット銀行として 2018 年 7 月に誕生しました。お客さま目線に徹底的にこだわり、最新テクノロジーを駆使した、“気づけば誰もが使っている”、お客さまに寄り添う銀行を目指し、新たな金融・決済ソリューションをお届けしています。また、銀行 API の無償提供により、連携先企業さまを通じて、安心、便利なサービスの提供にも貢献しています。これらの API への取り組みや新サービスなどが評価され、金融イノベーションのアワード「Japan Financial Innovation Award」において金融機関カテゴリを 2 年連続で受賞しております。

## 【参考 URL】

API 接続の紹介・申込	<a href="https://gmo-aozora.com/api-cooperation/">https://gmo-aozora.com/api-cooperation/</a>
sunabar 銀行 API 実験場	<a href="https://gmo-aozora.com/api-cooperation/sunabarinfo.html">https://gmo-aozora.com/api-cooperation/sunabarinfo.html</a>

## 【GMO あおぞらネット銀行株式会社 会社概要】

本店：東京都渋谷区道玄坂 1-2-3 渋谷フクラス  
 代表者：代表取締役会長 金子 岳人、代表取締役社長 山根 武  
 資本金：155 億 4,132 万円  
 設立年月日：1994 年 2 月 28 日  
 URL：<https://gmo-aozora.com/>

## 【API 接続サービスに関するお問い合わせ】

GMO あおぞらネット銀行株式会社 ビジネスソリューショングループ API・プラットフォーム銀行事業統括チーム  
 E-mail: [open-api@gmo-aozora.com](mailto:open-api@gmo-aozora.com)

以上